1803 GH81

レンジフード

取付説明書

右排気タイプ（表面）・左排気タイプ（裏面）
同時給排タイプ（裏面）

取扱説明書・取付説明書は必ずご使用になるお客様にお渡しください。

※機種により多少デザインが異なる場合があります。

安全上のご注意

- 取り付けの前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けをおこなってください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しく取り付け、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の２つに区別しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

⚠警 告：人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。

⚠注 意：人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

絵表示の例

⃠ 記号は行為を禁止する内容を告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

● 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

⚠警 告

- 修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造をしないこと（分解・修理・改造禁止）
  発火・感電したり、異常動作してけがをするおそれがあります
- 排気工事をされる場合は建築基準法（同施行令）および消防法などの関連法規に従って法的有資格者が工事をおこなうこと（取付注意）
  火災などの原因になります
- 配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って法的有資格者が工事をおこなうこと（取付注意）
  誤った配線工事は感電や火災の原因になります
- アースを確実に取り付けること（アースを取り付ける）
  故障や漏電のときに感電するおそれがあります
  アースの取り付けは販売店にご相談ください
- メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電気的に接触しないよう取り付けること（取付注意）
  漏電した場合、発火したり感電するおそれがあります
- 本体とダクトは、可燃物との間を10cm以上離すか、不燃材料を使用して可燃物を覆うこと（取付注意）
  火災などの原因になります
  詳しくは所轄の消防署に問い合わせてください
- レンジフードの壁への埋め込みはしないこと（埋込禁止）
  漏電した場合、発火するおそれがあります
- レンジフードの取り付けは、薄板の金属部（壁内ラス網など）と接触しないよう取り付けること（取付注意）
  漏電した場合、発火するおそれがあります
- 交流100 V以外では使用しないこと（使用禁止）
  火災・感電の原因になります
- 自然排気型のストーブを使用するときは、空気の取入口（給気口）により十分給気される配慮をすること（取付注意）
  排気ガスが室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こすおそれがあります

⚠注 意

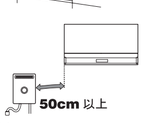
- 取り扱いの際は必ず厚手の手袋をすること（手袋をする）
  鋼板の切り口や角でけがをするおそれがあります
- ファンや部品の取り付けは確実におこなうこと（取付注意）
  落下によりけがをするおそれがあります
- レンジフードの取り付けは十分強度のあるところを選んで確実におこなうこと（取付注意）
  落下によりけがをするおそれがあります
- 浴室など湿気の多い場所では絶対に使わないこと（浴室用換気扇をお使いください。）（使用禁止）
  感電および故障の原因になります
- 周囲温度が40℃以上になるところには取り付けないこと（取付禁止）
  火災・故障の原因になります
- 運転中は指や物を絶対に入れないこと（接触禁止）
  けがをするおそれがあります

取り付け上のお願い

● 下記は「建設工事」に区分され、関連する法令、規定に従って法的有資格者がおこなう必要があります。
・大工工事【設置のための下地工事等】
・配線工事【コンセントの設置、コンセント・コネクター利用以外の配線接続等】
・管工事【ダクト配管およびレンジフードからのダクト接続等】
流通業者（販売店）を通して組立・設置する場合は、「建設工事」とそれ以外の「組立・設置」を区別しておこなってください。

- ダクトの不燃処理について
  ・ダクトを50mm以上の不燃材料、または20mm以上の国土交通大臣不燃認定品の不燃材料で被覆してください。
  ・施工要領は、各メーカーの「標準施工要領技術指導書」・「検査要領書」に従ってください。
- 調理機器の幅はレンジフードの幅以内のものをご使用ください。
  また調理機器はレンジフードの前面より手前にはみ出して設置しないでください。排気効率が低下します。
- 屋外壁面の排気出口に取り付けるベントキャップまたはパイプフードの通気抵抗は400m³/h時50Pa以下のものをご使用ください。
  防虫網付きのものは目詰まりして排気性能が低下する場合がありますので使用しないでください。
- 非常に長いダクトや細いダクト、あるいは極端に屈曲したダクトは排気効果をいちじるしく低下させたり、騒音が大きくなりますので使用しないでください。
- レンジフード取付面の補強部に、取付用ねじが確実に届くことを確認してください。
  本体の取付用ねじは45mmの長さのものが同梱されておりますが、壁下地に石膏ボード等が貼られている場合は、石膏ボード等の厚さを確認し、取付用ねじが確実に補強部に届くことを確認してください。
  また、レンジフード本体取付面には必ず不燃材を使用してください。
- 製品は調理機器の真上に取り付けてください。
  なお、製品取付高さは、製品の下端が調理機器の真上80cm以上になるようにしてください。

- レンジフード下部には、湯沸器を絶対に取り付けないでください。
  また、横方向50cm以上離して取り付けてください。
  湯沸器の真上は高熱になるため故障の原因になります。



- 電源は専用コンセントおよびブレーカーを設けてください。
  火災・故障の原因になります。
- 製品仕様を改造してのご使用は絶対におやめください。
- 部屋の中央で料理される場合は油煙が捕集しきれませんので、お台所の全体換気のために他の換気扇と併用していただければ、よりすぐれた換気ができます。
- 建物が密閉されている場合は必ず、約400cm²程度の空気取入口を設けてください。
- 寒い地域ではダクトが結露し本体内に結露水が流れる場合がありますので断熱材を巻くなどの対応をしてください。

取り付け前の調査と準備

⚠警 告

- 修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造をしないこと（分解・修理・改造禁止）
  発火・感電したり、異常動作してけがをするおそれがあります
- レンジフードは、薄板の金属部（壁内ラス網など）と接触しないよう取り付けること（取付注意）
  漏電した場合、発火するおそれがあります
- 本体とダクトは、可燃物との間を10cm以上離すか、不燃材料を使用して可燃物を覆うこと（取付注意）
  火災などの原因になります
  詳しくは所轄の消防署に問い合わせてください
- レンジフードの壁への埋め込みはしないこと（埋込禁止）
  漏電した場合、発火するおそれがあります
- 排気工事をされる場合は建築基準法（同施行令）および消防法などの関連法規に従って法的有資格者が工事をおこなうこと（取付注意）
  火災などの原因になります

⚠注 意

- 取り扱いの際は、必ず厚手の手袋をすること（取付注意）
  鋼板の切り口や角でけがをするおそれがあります
- 周囲温度が40℃以上になるところには取り付けないこと（取付禁止）
  火災・故障の原因になります
- レンジフードの取り付けは十分強度のあるところを選んで確実におこなうこと（取付注意）
  落下によりけがをするおそれがあります
  壁材が薄く弱いと振動音が発生するおそれがあります

1 取付面の強度確認
製品を支える強さが必要です。

	製品質量
750幅	18.0 kg
900幅	19.5 kg

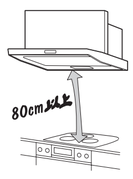
■ 板張りの場合
- 板厚が20mm以下の場合には壁に補強板を埋め込み、補強板にレンジフードを取り付けてください。
- 板厚が20mm以上の場合は補強板の必要はありません。

■ コンクリート、タイル壁の場合
- あらかじめ補強板を壁に埋め込んでおくか、カールプラグ等を使用し固定してください。

■ 土壁の場合
- 柱などに固定した補強板をあらかじめ壁に埋め込んでください。

2 別売部品の準備
排気工事に応じた別売部品の準備が事前に必要です。

3 標準取付寸法
本製品の標準取付寸法は、調理機器の上面から製品の下端まで80cmです。
※火災予防条例では、グリスフィルターの下端が調理機器の真上80cm以上必要となっています。



4 電源コンセント・ブレーカー
電源コンセント・ブレーカーは専用のものを設置してください。（交流・単相100V）
コンセントは、JIS C 8303 2極差込接続器15A 125Vをご使用ください。

付属品

座付ねじ φ5.1×45（4本）
本体の取り付けに使います。

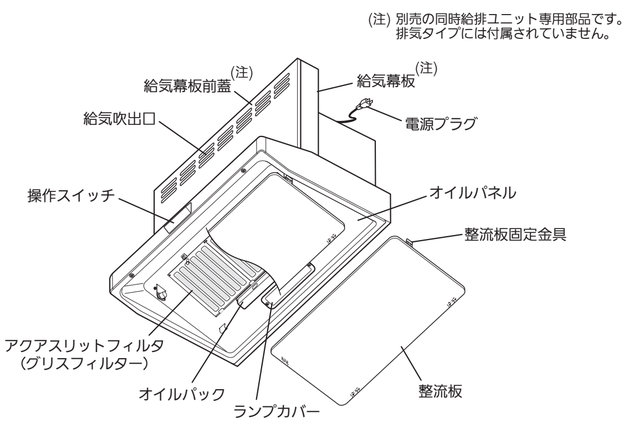
段付ねじ M4×12（4本）
本体の取り付けに使います。

ソフトテープ（1本）
排気口とダクトとの隙間をふさぐのに使います。

排気口（1個）
本体とダクトの接続に使います。
逆風防止シャッター付きです。

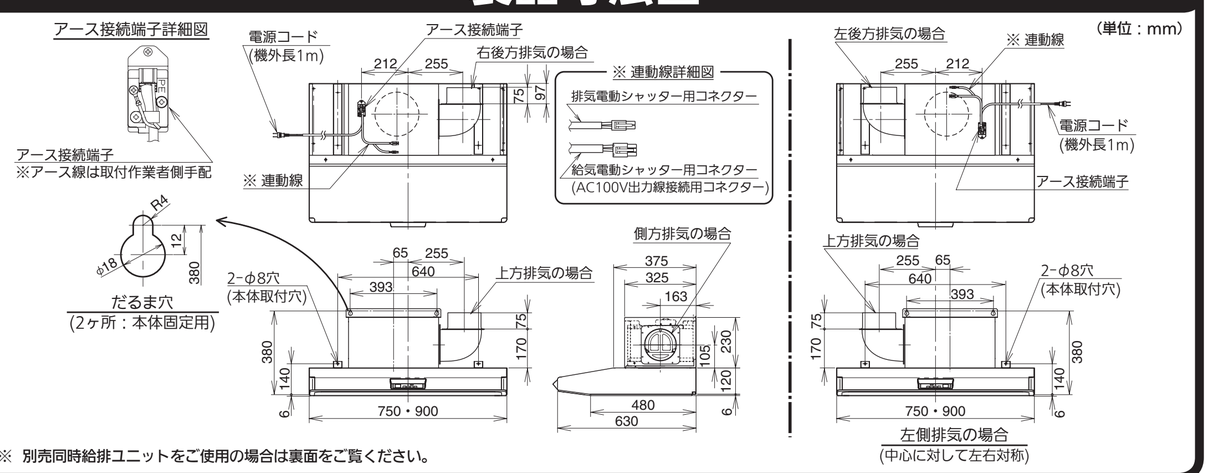
L形ダクト（1個）
上方・後方排気の場合に使います。

各部のなまえ



製品寸法図

（単位：mm）



※ 別売同時給排ユニットをご使用の場合は裏面をご覧ください。

取り付けかた（右側排気）の場合

注） 左側排気の場合と別売同時給排ユニットの取り付けの場合は裏面をご覧ください。

1．排気方向の決定

⚠警 告

- メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電気的に接触しないように取り付けること（取付注意）
  漏電した場合、発火したり感電するおそれがあります
- 排気工事をされる場合は、建築基準法（同施行令）および消防法などの関連法規に従って法的有資格者が工事をおこなうこと（取付注意）
  火災などの原因になります
- 本体とダクトは、可燃物との間を10cm以上離すか、不燃材料を使用して可燃物を覆うこと（取付注意）
  火災などの原因になります
  詳しくは所轄の消防署に問い合わせてください

⚠注 意

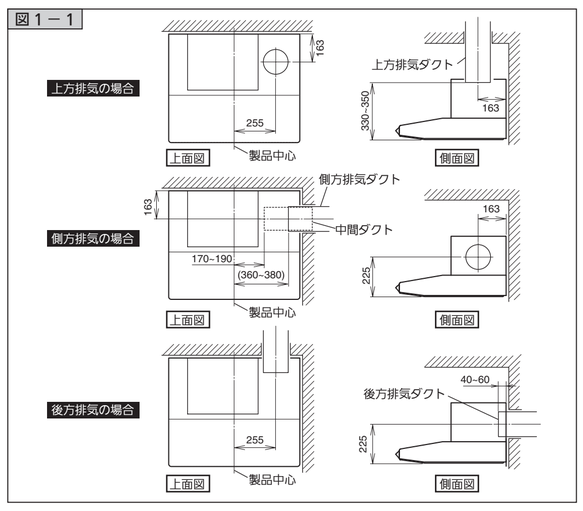
- 浴室など湿気の多い場所では絶対に使わないこと（浴室用換気扇をお使いください。）（使用禁止）
  感電および故障の原因になります
- 周囲温度が40℃以上になるところには取り付けないこと（取付禁止）
  火災・故障の原因になります

※ 納入時は右側排気仕様になっています。
左側排気の場合は裏面の「左側排気への変更手順」を参照して、ファンユニットの取付変更をおこなってください。

1 製品寸法図を参照し、事前に管工事業者（法的有資格者）へ壁穴の開口を依頼してください。
また、コンセントの位置を確認してください。（「取り付け前の調査と準備」手順4参照）

2 φ150のステンレスダクト、またはスパイラルダクトを図のようにレンジフードの上部に突き出すようにセットして、周囲を仕上げます。
（コンクリート、タイル、土壁の場合）（図1－1）

図1－1



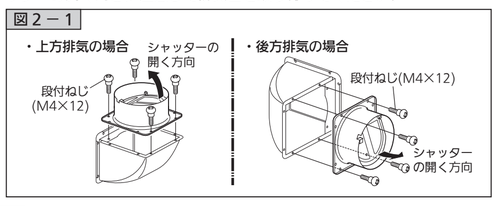
2．排気用部品の準備

排気方向とL形ダクトの接続

■ 側方排気の場合
L形ダクトは使用しません。排気口のみ準備してください。

■ 上方排気・後方排気の場合（図2－1）
排気口を付属品の段付ねじ4本でL形ダクトに取り付けます。
シャッターの開く向きに注意して排気口を取り付けてください。

図2－1

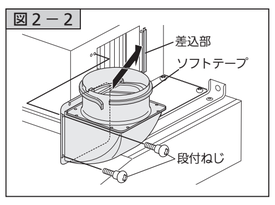


お願い
排気口を取り付ける際は、シャッターの開く向きに注意してください。
誤った取り付けの場合、排気不良や異常音の原因になります。

排気口と送風機ユニットの接続

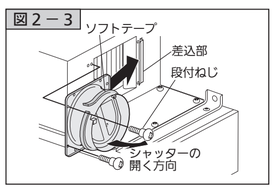
■ 上方排気の場合（図2－2）
排気口に付属品のソフトテープを貼り、L形ダクトを送風機ユニット部側面の差込部に差し込み、段付ねじ2本で取り付けます。
（段付ねじはあらかじめ送風機ユニット部の排気口取付部に止めてありますので、はずしてお使いください。）

図2－2



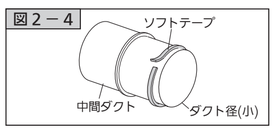
■ 側方排気の場合（図2－3）
排気口に付属品のソフトテープを貼り、排気口を送風機ユニット部側面の差込部に差し込み、段付ねじ2本で取り付けます。
（段付ねじはあらかじめ送風機ユニット部の排気口取付部に止めてありますので、はずしてお使いください。）

図2－3



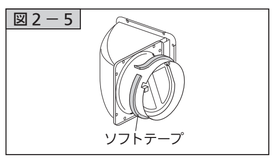
■ 別売の中間ダクトを使用する場合（図2－4）
中間ダクトの外径が小さい側に、中間ダクトに付属品のソフトテープを貼り付けます。

図2－4



■ 後方排気の場合（図2－5）
排気口に付属品のソフトテープを貼り付けます。送風機ユニットへの取り付けは後でおこないます。

図2－5



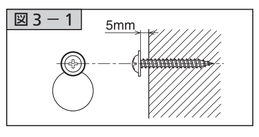
3．本体の取り付け

⚠注 意

- レンジフードの取り付けは十分強度のあるところを選んで確実におこなうこと（取付注意）
  落下により、けがをするおそれがあります

1 送風機ユニット部のだるま穴用座付ねじをねじ込みます。
だるま穴位置（左右各1ヶ所）に付属品の座付ねじ（φ5.1×45）を壁面との隙間5mmまで締め付けます。（図3－1）

図3－1

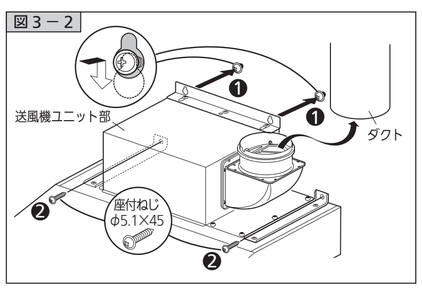


2 だるま穴用座付ねじに送風機ユニット部のだるま穴を引っ掛けたあと、座付ねじ2本をしっかりと締め付けます。（図3－2❶）

お願い
上方排気の場合は、ダクトに排気口を差し込みながら本体を取り付けてください。

3 フード本体左右の吊り金具の丸穴に、付属品の座付ねじ2本（φ5.1×45）でしっかりと固定します。
（図3－2❷）

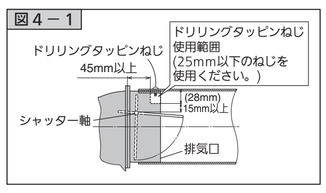
図3－2



4．ダクトと排気用部品の接続

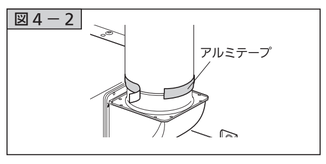
お願い
ドリリングタッピンねじなどで排気口を固定する場合は、シャッターにねじがあたらないように図を参照してドリリングタッピンねじ使用範囲以内に固定してください。（図4－1）

図4－1



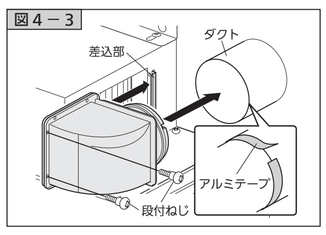
■ 上方排気の場合（図4－2）
風漏れ防止のテーピング（アルミテープ）をおこないます。

図4－2



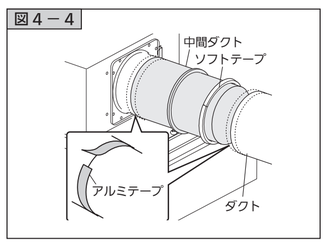
■ 後方排気の場合（図4－3）
排気口をダクトに差し込みながら送風機ユニット部の差込部に挿入し、段付ねじ2本で取り付けます。
（段付ねじはあらかじめ送風機ユニット部の排気口取付部に止めてありますので、はずしてお使いください。）
その後、風漏れ防止のテーピング（アルミテープ）をおこないます。

図4－3



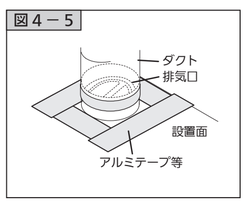
■ 側方排気の場合（図4－4）
別売の中間ダクトを使用する場合
中間ダクトのソフトテープ貼り付け側をダクトに挿入します。
その後、風漏れ防止のテーピング（アルミテープ）をおこないます。

図4－4



■ 排気口設置面の漏風確認のお願い（図4－5）
排気口とダクトを接続する際に、無理にダクトにレンジフードの排気口を接続しようとすると、排気口と排気口の設置面（フード天面等）が変形し、風漏れが発生してしまう場合があります。
風漏れ確認のために、ダクトと接続後は試運転（強運転）をおこなってください。
漏風する場合は、排気口と設置面の周りをアルミテープ等（現場調達品）で漏風防止処置をおこなってください。

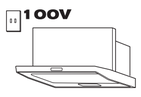
図4－5



5．電気配線

⚠警 告

- 修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造をしないこと（分解・修理・改造禁止）
  発火・感電したり、異常動作してけがをするおそれがあります
- 交流100 V以外では使用しないこと（使用禁止）
  火災・感電の原因になります



- 配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って法的有資格者が工事をおこなうこと（取付注意）
  誤った配線工事は感電や火災の原因になります
- アースを確実に取り付けること（アースを取り付ける）
  故障や漏電のときに感電するおそれがあります
  アースの取り付けは販売店にご相談ください

1 アース（D種接地工事）を取ります。
※アース線は取り付け作業側にて手配します。

2 分電盤のブレーカーを「切」にし、電源プラグをコンセントに差し込みます。

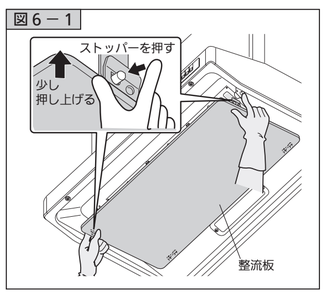
お願い
・電源は専用のコンセント（2極差込接続器15A、125V）およびブレーカーを設けてください。
・コンセントは電源コードの長さを考慮して設置してください。

6．試運転の準備

1 整流板をはずします。
整流板を手で支え、少し押し上げるようにして整流板の両端にあるストッパーを押してはずします。
（図6－1）

お願い
整流板を落とさないように両手でしっかりと支えてください。

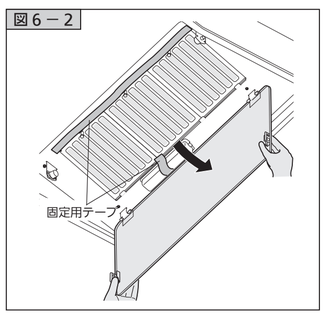
図6－1



2 整流板を両手で支えながら、下へゆっくりとおろします。（図6－2）

3 スロットフィルタおよびオイルパックを固定しているテープをはがします。
（図6－2）

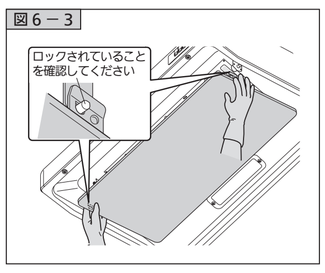
図6－2



4 整流板を左右から両手で支えながら手前側を押し上げて、上部両角のストッパーにより固定されるまで押し込みます。（図6－3）
※ 整流板を軽く上下に動かしてみて、確実に取り付けられたことを確認してください。

お願い
整流板の固定は確実におこなってください。ロックが不十分ですと整流板の落下の原因になりますので、取り付け後、再確認してください。

図6－3



7．試運転

⚠注 意

- 運転中はファンの中に指や物を絶対に入れないこと（接触禁止）
  けがをするおそれがあります

■ ブレーカーを「入」にします。
■ 各操作スイッチを押し、運転状態を確認してください。
スイッチの操作、運転状態等については取扱説明書をご覧ください。
■ 運転時、各速調の排気が正しくおこなわれていることを確認してください。
■ 異常な騒音、振動がないことを確認してください。
■ 屋外の排気出口から排気され、異常がないことを確認してください。
■ 取り付けまたは各種工事にて発生した不具合で修理を依頼されますと全て有料となりますので十分確認してください。

8．お客様への説明

■ 取扱説明書によって機器の取り扱いを説明してください。
■ 取扱説明書と共に、この取付説明書を必ずお客様へお渡しください。

［製造元］ 富士工業株式会社

本社・営業部 〒252-0206 相模原市中央区淵野辺2丁目1－9
TEL 042(768)3754（営業部）

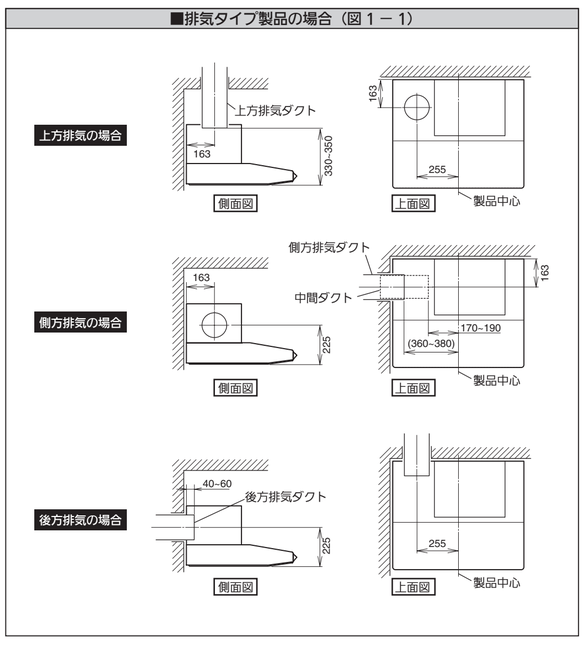
左側排気・左側同時給排の場合

1．排気方向の決定（左側排気タイプ）

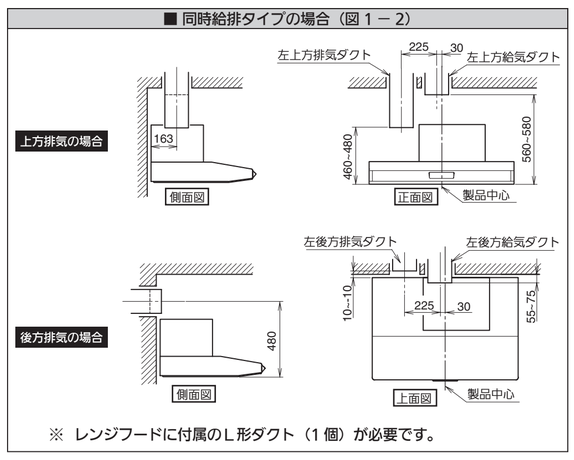
1 製品寸法図を参照し、事前に管工事業者（法的有資格者）へ壁穴の開口を依頼してください。
また、コンセントの位置を確認してください。（表面「取り付け前の調査と準備」手順４参照）

2 φ 150 のステンレスダクト、またはスパイラルダクトを図のようにレンジフードの上部に突き出すようにセットして、周囲を仕上げます。
（コンクリート、タイル、土壁の場合）（図１－１、図１－２）

■排気タイプ製品の場合（図１－１）



■ 同時給排タイプの場合（図１－２）



※ レンジフードに付属のＬ形ダクト（１個）が必要です。

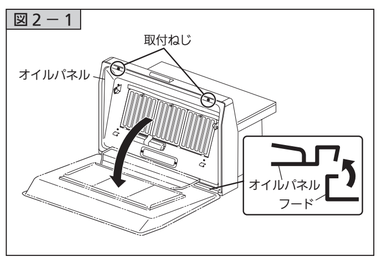
2．左側排気への準備（排気・同時給排タイプ共通）

※ この説明は左側方（上方・後方）の排気用です。本体右側からの排気の場合は必要ありません。

お願い
梱包材などを床に敷き、その上で作業してください。床面をキズつけるおそれがあります。

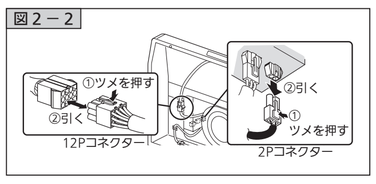
1 オイルパネルをはずします。（図２－１）
オイルパネルを固定している取付ねじをゆるめ、オイルパネルを矢印の方向に開けてはずします。

図２－１

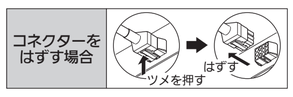


2 コネクター（2P・12P）をはずします。（図２－２）
1）右図の位置のコネクター（2P･12P）をはずします。
※ 2P コネクターは配線ボックス側のみはずします。

図２－２

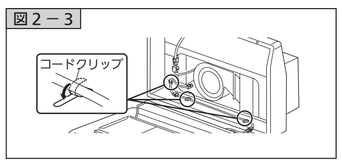


お願い コネクターのはずしかたについて
コネクターをはずす際は、ツメの部分を押しながら、まっすぐ引き抜いてください。無理にひっぱると断線するおそれがあります。



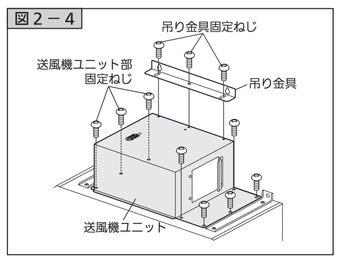
2）コードクリップから配線をはずします。（図２－３）

図２－３



3 吊り金具（送風機ユニット部側）と送風機ユニット部をはずします。
1）吊り金具固定ねじ３本をはずします。（図２－４）
2）送風機ユニット部固定ねじ８本をはずします。（図２－４）

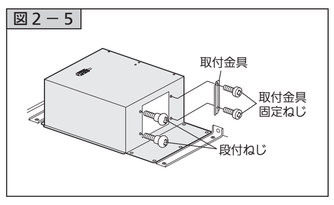
図２－４



3）取付金具固定ねじ２本をはずします。（図２－５）
4）段付ねじ２本をはずします。（図２－５）

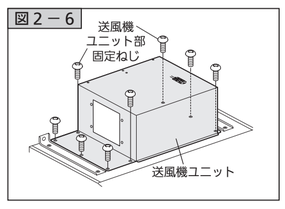
お願い
はずした金具とねじは、すべて後で使用しますのでなくさないようご注意ください。

図２－５



4 吊り金具（送風機ユニット部側）と送風機ユニット部を付け替えます。
1）送風機ユニット部が手順３と反対の向き（排気口用穴が左に見える位置）であることを確認し、送風機ユニット部固定ねじ８本で止めます。（図２－６）

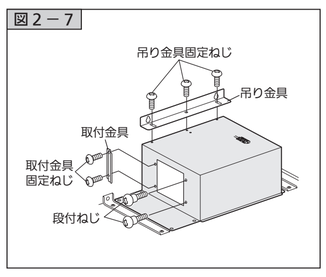
図２－６



2）吊り金具（送風機側）を固定用ねじ３本で止めます。（図２－７）
3）取付金具を右図の向きにねじ２本で後方の穴に止めます。（図２－７）
4）最後に段付ねじ２本を止めます。（図２－７）

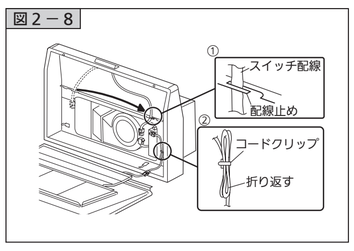
お願い
送風機および吊り金具のねじ止めは確実におこなってください。ねじの締め付けが不十分ですと、異常音・振動・落下の原因になります。

図２－７



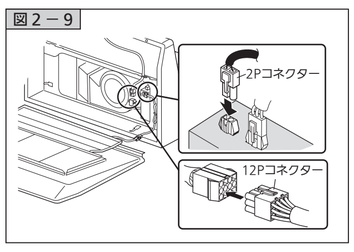
5 配線の固定位置を変更します。
1）スイッチ配線を配線止めからはずし、反対側の配線止めに付け替えます。（図２－８）
2）反対側にあるコードクリップで配線を固定します。（図２－８）

図２－８

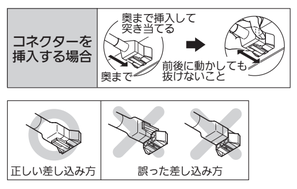


6 コネクター（2P・12P）を接続します。（図２－９）
手順２と逆の手順で接続します。

図２－９



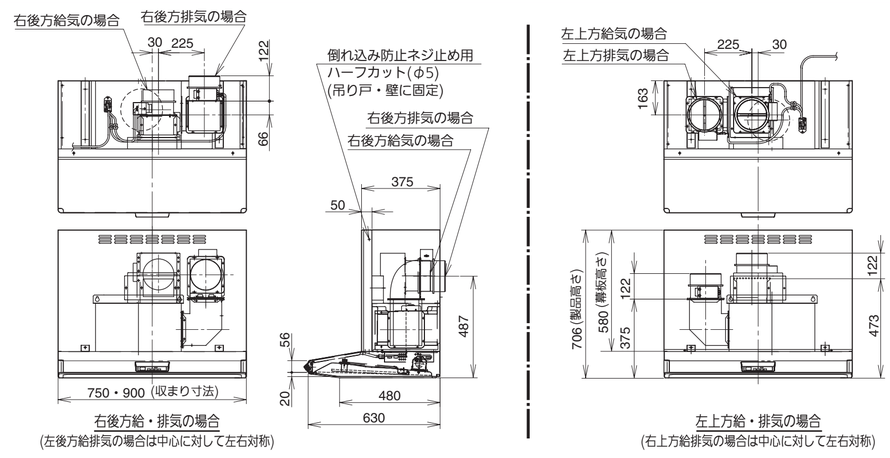
お願い
● コネクターの接続は確実におこなってください。
接続が不十分な場合、レンジフードが動作しない、発熱による故障などの原因になります。また、電源線、信号線は挟まないようご注意ください。
● コネクターを挿入する際は、ツメの向きを合わせて確実にロックしてください。



7 オイルパネルを取り付けます。
手順１と逆の手順で取り付けてください。

表面の「2. 排気用部品の準備」、または下段、別売同時給排ユニットの取り付けの「3. 排気用部品の準備」へ

製品寸法図（別売同時給排ユニット取り付けの場合）



付属品

取付ねじ（M4 × 8, 10 本）
給気・排気部品の接続に使います。
（10 本中 2 本は、給気幕板前蓋の内側にテープ止めされています。）

取付ねじ（M4 × 10, 2 本）
給気幕板本体の取り付けに使います。
（給気幕板前蓋の内側にテープ止めされています。）

排気用電動シャッター（1 個）
排気チャンバーに取り付け、レンジフードとダクトの接続に使います。

ソフトテープ（2 本）
電動シャッター（排気用・給気用）に巻いて、ダクトとの隙間をふさぐのに使います。

排気チャンバー（1 個）
排気用電動シャッターを取り付け、本体とダクトの接続に使います。

給気チャンバー
（給気用電動シャッター付）（1 個）
給気用電動シャッター付です。
送風機ユニット部の上部に取り付けます。

給気幕板本体（1 個）
給気チャンバーとの接続に使います。

給気幕板前ふた（1 個）
給気幕板のふたとして使います。

給気アダプター（1 個）
給気幕板と給気チャンバーの接続に使います。

中継線（給・排気用）（各 1 本）
本体と各電動シャッター（給・排気用）の接続に使います。

別売同時給排ユニットの取り付け

1．レンジフード本体の準備

本書表面をお読みください。

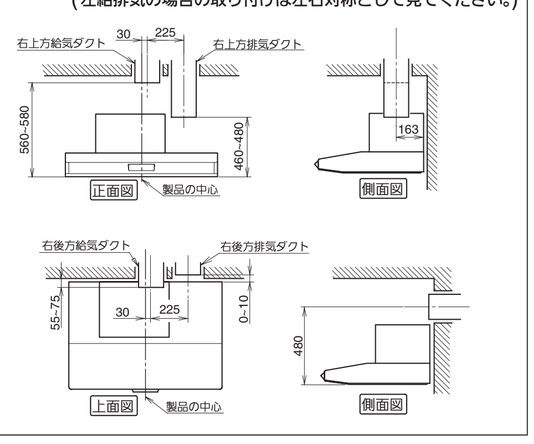
2．給・排気ダクトの準備

※ 納入時は右側排気仕様になっています。
左側排気の場合は上記の「左側排気への変更手順」を参照して、ファンユニットの取付変更をおこなってください。

1 製品寸法図を参照し、事前に管工事業者（法的有資格者）へ壁穴の開口を依頼してください。
また、コンセントの位置を確認してください。（表面「取り付け前の調査と準備」手順４参照）

2 φ 150 のステンレスダクト、またはスパイラルダクトを図のようにレンジフードの上部に突き出すようにセットして、周囲を仕上げます。
（コンクリート、タイル、土壁の場合）（図２－１）

図２－１ ※ 図は右給排気を示します。
（左給排気の場合の取り付けは左右対称として見てください。）



3．排気用部品の準備

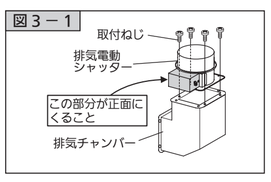
※ 説明図は右給排気を示します。
（左給排気の場合の取り付けは左右対称として見てください。）

付属品の電動シャッター（排気用）･排気チャンバーを準備してください。

電動シャッター（排気用）と排気チャンバーの接続方法

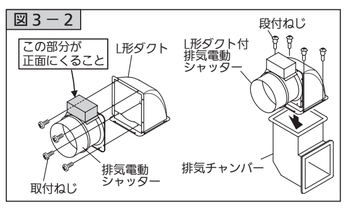
■ 上方排気の場合（図３－１）
付属品の排気チャンバーに排気用電動シャッターを付属品の取付ねじ（M4 × 8）４本で取り付けます。

図３－１



■ 後方排気の場合（レンジフードに付属品のＬ形ダクトを使用します）（図３－２）
1）Ｌ形ダクト（付属品）に排気用電動シャッターを付属品の取付ねじ（M4 × 8）４本で取り付けます。
2）Ｌ形ダクトと排気チャンバーをレンジフードに付属されている段付ねじ（M4 × 12）４本で取り付けます。

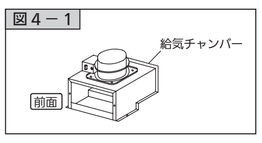
図３－２



4．給気用部品の準備

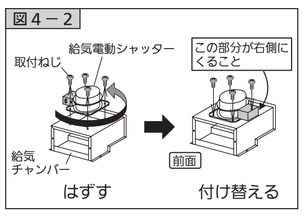
■ 上方給気の場合
●右給排気の場合
付属品の給気チャンバーをそのまま用います。（図４－１）

図４－１



●左給排気の場合
右図のように給気電動シャッターを取り付けている取付ねじ（M4 × 8）４本をはずし、180 度回転させて、再び取付ねじ（M4 × 8）４本で取り付けます。（図４－２）

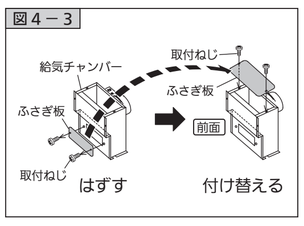
図４－２



■ 後方給気の場合（図４－３）
●右給排気の場合
付属品の給気チャンバーに取り付けてあるふさぎ板を取付ねじ（M4 × 8）２本をはずして上面部に付け替えます。（図４－３）

●左給排気の場合
上記の「上方給気の場合」と同様に給気電動シャッターを 180 度回転させて取り付け直します。
上記の「右給排気の場合」と同様にふさぎ板を付け替えます。

図４－３

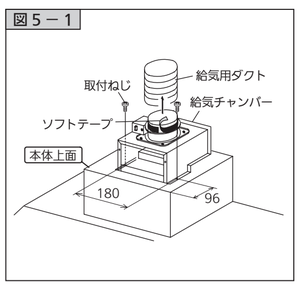


5．上方給・排気の場合の給排ユニットの取り付け

※ 説明図は右給排気を示します。
（左給排気の場合の取り付けは左右対称として見てください。）

1 給気・排気電動シャッターの準備
給気・排気電動シャッターに付属品のソフトテープを貼り付けます。（風漏れ防止）
※ レンジフードに付属の「排気口」は使用しません。

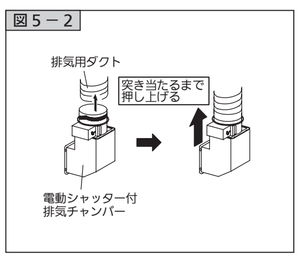
図５－１



2 給気チャンバーの取り付け
給気チャンバーを本体の上面に取付ねじ（M4 × 8）２本で取り付けます。取付位置は右図を参照ください。（図５－１）
※ 取付ねじはあらかじめ本体の取付部に止めてありますので、はずしてご使用ください。

3 ダクトへの挿入
「3. 排気用部品の準備」で用意した電動シャッター付排気チャンバーをダクトに挿入します。挿入した電動シャッター付排気チャンバーを電動シャッターの奥にダクトが突き当たるまで押し上げます。（図５－２）

図５－２

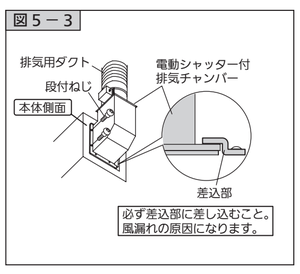


4 レンジフード本体の取り付け
表面の取り付けかた「3. 本体の取り付け」に従って取り付けてください。
ダクトに給気口を差し込みながらレンジフードを取り付けます。

5 電動シャッター付排気チャンバーの本体取り付け
手順３ ダクトに挿入した電動シャッター付排気チャンバーを本体側面の取付穴位置まで少しずつ下げ、本体側面の差込部に差し込み、手前を段付ねじ（M4 × 12）２本で取り付けます。（図５－３）
※ 段付ねじはあらかじめ本体側面の取付部に止めてありますので、はずしてご使用ください。

お願い
電源コード、信号コードを挟まないようにご注意ください。

図５－３



6．後方給・排気の場合の給排ユニットの取り付け

※ 説明図は右給排気を示します。
（左給排気の場合の取り付けは左右対称として見てください。）

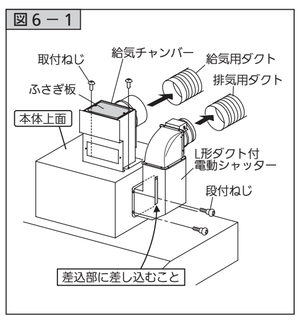
1 給気・排気電動シャッターの準備
「5. 上方給・排気の場合の給排ユニットの取り付け」の手順１と同様の作業をおこないます。

2 レンジフード本体の取り付け
表面の取り付けかた「3. 本体の取り付け」に従って取り付けます。

3 排気チャンバーの取り付け（図６－１）
「3. 排気用部品の準備」で用意した L 形ダクトを付けた排気電動シャッターをダクトに挿入しながら、本体側面の差込部に差し込み、手前を段付ねじ（M4 × 12）２本で取り付けます。
※ 段付ねじはあらかじめ本体側面の取付部に止めてありますので、はずしてご使用ください。
（「5. 上方給・排気の場合の給排ユニットの取り付け」の図を参照ください。）

お願い
電源コード、信号コードを挟まないようにご注意ください。

図６－１



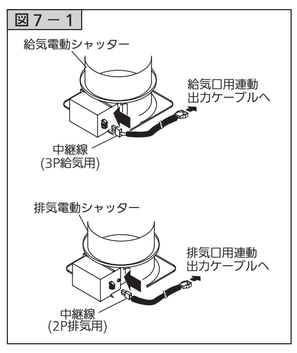
4 給気チャンバーの取り付け
給気チャンバーは、ふさぎ板を付け替えた物を使用します。
（「4. 給気用部品の準備」を参照ください。）
給気チャンバーをダクトに挿入しながら取付ねじ（M4×8）２本で取り付けます。
※ 取付ねじはあらかじめ本体の取付部に止めてありますので、はずしてご使用ください。

7．給・排気用電動シャッターへの信号線接続

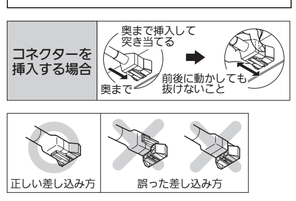
1 給気電動シャッターのコネクター接続部（3P コネクター）に付属品の給気用中継線（3P）を接続し、もう一方の中継線をレンジフード本体の信号線の 3P コネクター（白･灰）に接続します。（図７－１）

2 排気電動シャッターのコネクター接続部（2P コネクター）に付属品の排気用中継線（2P）を接続し、もう一方の中継線をレンジフード本体の信号線の 2P コネクター（白･灰）に接続します。（図７－１）

図７－１



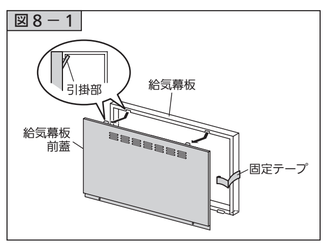
お願い
● コネクターの接続は確実におこなってください。
接続が不十分な場合、レンジフードが動作しない、発熱による故障などの原因になります。また、電源線、信号線は挟まないようご注意ください。
● コネクターを挿入する際は、ツメの向きを合わせて確実にロックしてください。



8．給気幕板の準備

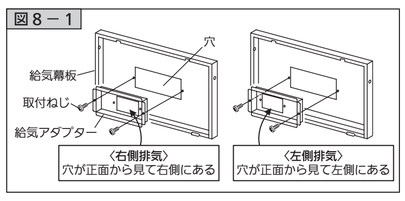
1 給気幕板本体から給気幕板前ふたをはずします。（図８－１）
梱包材から給気幕板一式を取り出し、左右２ケ所の固定テープをはがし、前蓋を開きながら上部２ヶ所の引掛部から取りはずします。

図８－１



2 給気アダプターを給気幕板本体の穴に前面より付属品の取付ねじ（M4×8）２本で固定します。（図８－２）

図８－１

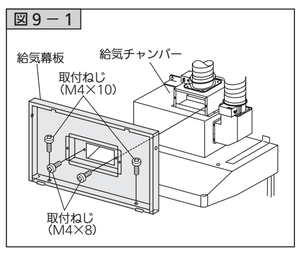


9．給気幕板の取り付け

■ 別売の同時給排用横幕板を使用する場合
（「9. 給気幕板の取り付け」の前に必ず取り付けてください。）
横幕板に同梱されている取付説明書をお読みください。

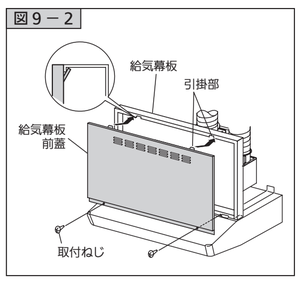
1 給気幕板の下側を取付ねじ（M4 × 10）２本でレンジフードの天面に固定します。
その後、給気チャンバーに付属品の取付ねじ（M4 × 8）２本で固定します。（図９－１）
※ 取付ねじ（M4 × 10）２本は給気幕板前蓋の内側にテープ止めされています。

図９－１



2 前蓋を取り付けます。
給気幕板前蓋の上部のツメを給気幕板に引っ掛けて、付属品の取付ねじ（M4 × 8）２本で固定します。（図９－２）
※ 取付ねじ（M4 × 8）２本は給気幕板前蓋内側にテープ止めされています。

図９－２

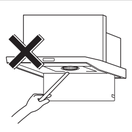


10．試運転

⚠ 注 意

使用禁止

● 運転中はファンの中に指や物を絶対に入れないこと
けがをするおそれがあります



■ ブレーカーを「入」にします。
■ 各操作スイッチを押し、運転状態を確認してください。
スイッチの操作、運転状態等については取扱説明書をご覧ください。
■ 運転時、各速調の排気が正しくおこなわれていることを確認してください。
■ 異常な騒音、振動がないことを確認してください。
■ 屋外の排気出口から排気され、異常音がないことを確認してください。
■ 取り付けまたは各種工事にて発生した不具合で修理を依頼されますと全て有料となりますので十分確認してください。

11．お客様への説明

■ 取扱説明書によって機器の取り扱いを説明してください。
■ 取扱説明書と共に、この取付説明書を必ずお客様へお渡しください。

［製造元］ 富士工業株式会社
本社・営業部 〒 252-0206 相模原市中央区淵野辺 2 丁目 1 － 9
TEL 042(768)3754（営業部）